

総合政策会議会議録

日 時	令和7年11月10日(月)9:40～10:20
場 所	市長室
出 席 者	<p>〔構成員〕 市長、伊藤副市長、小玉副市長、教育長、総務部長、総合政策部長、財務部長</p> <p>〔陪席者〕 秘書課長、政策推進課長（事務局）政策推進課</p> <p>〔説明者〕 総合政策部長、政策推進課</p>
議 題	松戸市総合計画に掲げる指標の実績値・達成状況の推移について
論 点	10月29日に開催した、松戸市まち・ひと・しごと創生懇談会において、松戸市総合計画に掲げる指標の実績値・達成状況の推移を説明したので報告するものである。
説 明 要 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松戸市まち・ひと・しごと創生懇談会では、外部有識者から数値目標とKPIについて、数が若干多い印象、「達成」となっていれば満足してしまいがちなので努力して達成しているのかそうでないのかを見極めることは必要といった意見があった。 ・ 住み続けたいと思う人の割合という数値目標があるが、住み続けたい理由としては自然災害の心配が少ないからという理由が最も多く、市民は安全安心を重視している傾向がうかがえる。
主 な 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ KPIの達成状況という目先の数字ばかりを追い過ぎず、目的達成を意識することが大事である。 ・ 定性的評価から定量的評価にしていくことは重要であり、今まである程度、数字を追い求めてきた。ただし、それだけではなく、たしかに定性的評価が必要な部分もある。 ・ KPI、数値目標の項目数が多すぎるのではないか。 ・ 松戸市に住み続けたいと思う人の理由で最も多いのが、「自然災害の心配が少ないから」ということは、職員も知っておく必要がある。市民の安全を守ることは、何よりも重要だ。
結 論	報告内容について了承